

2026年3月5日

報道関係各位

CCCMKホールディングス株式会社

## **JDMC 主催「データマネジメント賞」にて『データ基盤賞』を受賞**

ー1.58億IDを支えるデータ基盤の無停止モダン化とAI活用推進が高く評価ー

CCCMKホールディングス株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長兼CEO：高橋 誉則）は、このたび、一般社団法人日本データマネジメント・コンソーシアム（以下「JDMC」）が主催する「データマネジメント賞」において『データ基盤賞』を受賞しましたことをお知らせいたします。

JDMCは、データマネジメントの重要性の普及展開と実践的なデータマネジメント手法の確立を通じ、日本企業・組織の国際競争力強化に寄与することを目的とした団体です。JDMCが主催する「データマネジメント賞」は、データマネジメントに取り組む企業・団体・個人の優れた活動を評価・表彰するもので、過去10年以上にわたり運営されている由緒ある賞です。また、「データ基盤賞」は、データ分析における基盤構築にあたり、システムだけでなく組織間の連携も含めて著しい成果を上げた取り組みに授与される賞となります。

### **【JDMC 受賞理由】データ基盤賞／CCCMKホールディングス株式会社**

#### **1.58億IDを支えるデータプラットフォームの10年にわたる無停止モダン化**

CCCMKホールディングスは、累計ID数1.58億を超える「Vポイント」サービスを展開する、日本最大級の生活者データプラットフォーム企業である。2015年当時、オンプレミス機の性能限界によりITシステムがビジネスのボトルネックとなる深刻な課題に直面していた。

同社はこの状況を打開すべく、まず膨大なパーソナルデータを扱うがゆえのセキュリティ・コンプライアンス上の懸念を解消するため、法務・コンプライアンス・セキュリティの各部門と合意形成を重ね、全社的なクラウド検証を推進した。そして「10年間一度も業務を止めない」という厳格な条件を堅持しながら、2017年にMicrosoft Azureへの移行を実現し、2025年にはSnowflakeへの完全移行を完了させた。データをブロンズ・シルバー・ゴールドの3層で管理するメダリオンアーキテクチャを導入し、高度なデータガバナンス体制を確立している。並行して高度なデータ分析環境としてDatabricksを活用し、月間340時間を要していたデータ処理を34時間へと大幅に短縮、クラウドコストも5分の1に削減するという顕著な成果を上げた。

このデータ基盤の上で、社員によるAIエージェントの活用が進み、組織知を自在に引き出すAIトランスフォーメーションを推進している。累計1.58億IDという国内最大級の顧客資産を守りながらデータ増、利用ユーザー増とワークロードが増え続ける中で、10年にわたって業務を無停止で継続し、レガシー基盤の近代化とガバナンスに基づく高度なAI利活用を両立させた取り組みは特筆に値する。



同社の長期的な挑戦と卓越した成果を称え、データ基盤賞を授与する。

CCCMK ホールディングスは、これまで保有するデータを活用し、さまざまな企業や地域自治体に向けた課題解決や、生活者の皆さまのより豊かな暮らしの実現に向けた取り組みを継続的に行ってまいりました。具体的には、Vポイントのプラットフォームを通じてマーケティング施策の企画・実施・検証を一気通貫で支援するとともに、CCCMK ホールディングスの分析基盤を活用した CRM や商品・店舗開発などを推進することで、パートナー企業の顧客価値向上に貢献しています。

今回の受賞を励みとして、データを事業と社会の両面で活かす取り組みを継続し、データドリブン経営のモデルケースとなることを目指してまいります。